

「YAMAGATA」：6月の風物詩

名匠ヤブロンスキーの「皇帝」：ベートーヴェン生誕250年記念
飯森&山響が描く20世紀管弦楽の傑作バルトーク

山響

東京公演

山形交響楽団特別演奏会
Yamagata Symphony Orchestra
Special Concert

さくらんぼ

コンサート 2020

2020.

6/21日

14:00開演
(13:15開場)

13:45より、指揮者によるプレ・コンサート・トークを予定しております。

東京オペラシティコンサートホール

Tokyo Opera City Concert Hall

京王新線(都営地下鉄新宿線乗り入れ)
初台駅東口下車徒歩5分以内

- ベートーヴェン：
ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調「皇帝」作品73
- バルトーク：管弦楽のための協奏曲

Beethoven: Piano Concerto No.5 in E-Flat Major, Op.73, "Emperor"
Bartok: Concerto for Orchestra

※やむを得ない事情により出演者・曲目等が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。



指揮

飯森 範親
Conductor: Norichika Iimori
©山響



ピアノ

ペーター・ヤブロンスキー
Piano: Peter Jablonski
©B.Ealovega

入場料

全席指定(税込) S席 ¥5,800 A席 ¥4,800 B席 ¥2,700
《チケット一般発売：2020.2/8(土)》

※小学生以上の方がご入場いただけます。
※車椅子のご来場をご希望のお客様は、ジャパン・アーツびあまでお電話にてお問い合わせください。
※学生券(各ランクの半額、社会人学生を除く25歳までの学生が対象)を4/1(水) 10:00より、残席がある場合に限りジャパン・アーツびあの電話、及びWEBジャパン・アーツびあで受付をします。当日は学生証を提示の上、ご入場ください。

チケットのお申し込み

- ジャパン・アーツびあ TEL.0570-00-1212
<http://www.japanarts.co.jp>
- チケットびあ t.pia.jp TEL.0570-02-9999《Pコード:169-926》
- 東京オペラシティチケットセンター TEL.03-5353-9999
- e+ (イープラス) eplus.jp
- ローソンチケット TEL.0570-000-407《Lコード:34588》
- 山響チケットサービス TEL.023-616-6607(土・日・祝日を除く10:00~17:00)

お問い合わせ

- ◆ ジャパン・アーツびあ TEL.0570-00-1212
- ◆ 山響チケットサービス TEL.023-616-6607(土・日・祝日を除く10:00~17:00)

【主催】公益社団法人 山形交響楽協会 【協賛】おいしい山形推進機構
【後援】山形県・山形県人東京連合会・山形新聞・山形放送・山形テレビ 【公演運営】ジャパン・アーツ



©Kazuhiko Suzuki



食と温泉の国のオーケストラ

山形交響楽団

山形交響楽団ホームページ <http://www.yamakyō.or.jp/>

Facebook: yamagatasymphony Twitter: @y_symphony



本場「山形県産さくらんぼ」を抽選でプレゼント!
恒例の山形物産展も開催~"YAMAGATA"の魅力をお届けします!



山響 さくらんぼ コンサート 2020

東京公演

山形交響楽団特別演奏会

Yamagata Symphony Orchestra Special Concert



©山岸伸



©B.Ealovega

指揮 飯森 範親

Conductor : Norichika Iimori

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリンとミュンヘンで研鑽を積み、94年から東京交響楽団の専属指揮者、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者、広島交響楽団正指揮者などを歴任。96年、東京交響楽団のヨーロッパツアーでは「今後、イモリの名が世界で注目されるであろう」と絶賛された。03年、NHK交響楽団定期演奏会にマーラーの交響曲第1番でデビューを飾る。06年度芸術選奨文部科学大臣新人賞、06年度中島健蔵音楽賞を受賞。

海外ではフランクフルト放響、ケルン放響、チェコ・フィル、プラハ響などに客演を重ねる。01年よりドイツ・ヴェルテンベルク・フィルの音楽総監督(GMD)に就任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音。06年の日本ツアーを成功に導き、2017年5月にはミュンヘンのヘルクスザールを始めドイツ国内のツアーにて指揮。同年9月にはポーランドのオルシティン・フィルのシーズン開幕を指揮し成功を収めている。

19年12月現在、東京交響楽団正指揮者、いづみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者。07年から山形交響楽団の音楽監督に就任、次々と新機軸を打ち出してオーケストラの活動発展と水準の向上に目覚ましい成果を挙げたことで2011年齋藤茂吉文化賞を受賞。2014年シーズンから日本センチュリー交響楽団首席指揮者、2019年シーズンより山形交響楽団芸術総監督に就任。

2020年1月より東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、同年4月より中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者に就任。 オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>

ピアノ ペーター・ヤブロンスキ

Piano : Peter Jablonski

スウェーデン人とポーランド人の両親のもと、南スウェーデンに生まれる。5歳でドラムを、6歳でピアノを始め、たちまち非凡な才能を発揮。当初は特にドラムにのめり込み、9歳の頃にはニューヨークのヴィレッジヴァンガードや著名なジャズフェスティバルでパディ・リッチやサド・ジョーンズなどとも共演、伝説のジャズマン、マイルス・デイヴィスからも賛辞を受けるほどの活躍をみせる。

やがてその才能と情熱はクラシックピアノにも注がれ、11歳でソロデビュー、翌年にはモーツァルトのK453でコンチェルトデビューを果たし、この頃、ピアノとパーカッションの更なる研鑽を積むべくマルメ音楽アカデミーに入学、同アカデミーを卒業までにスウェーデン、デンマーク、ポーランドの各放送オーケストラに招かれベートーヴェンのコンチェルト第1番を共演。

その後イギリスに渡り、英国王立音楽大学にてピアノと指揮を学ぶ。在学中、ヴラディーミル・アシュケナーズの目にとり、アシュケナーズ指揮ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団との共演でDeccaからCDデビュー。2年後、再びアシュケナーズ指揮ロイヤル・フィルとシオスタコヴィチのコンチェルト、ラフマニノフのバガニーニの主題による狂詩曲、ルトスワフスキのバガニーニの主題による変奏曲を収録、このCDは権威あるエディソン・クラシック音楽賞最優秀コンチェルト録音賞に輝いた。

一流オーケストラとの協演、世界各地でのリサイタル出演の他、マスタークラスを開催し後進の指導にもあたっている。2005年、スウェーデン国王より文化功労章メダルを授章。

公式HP : <http://www.peterjablonski.com/>

“食と温泉の国のオーケストラ”

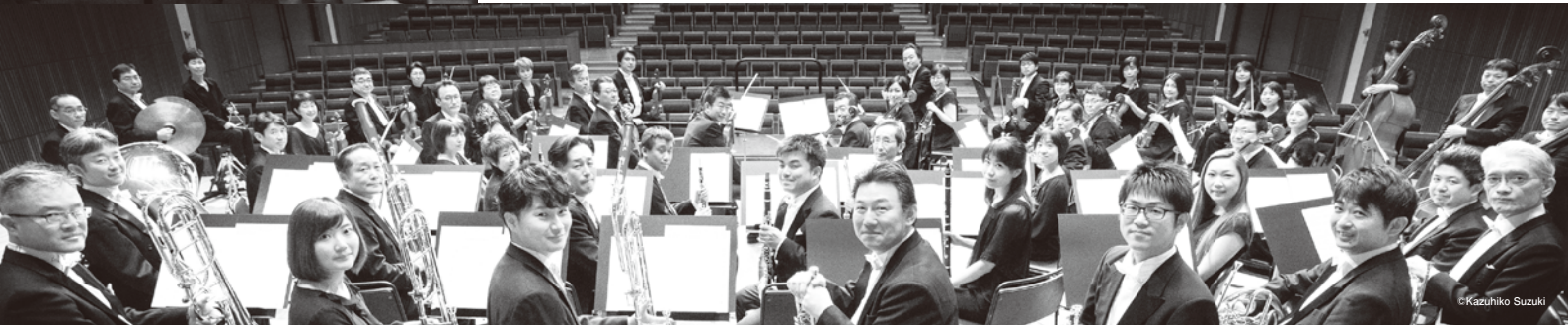
山形交響楽団

Yamagata Symphony Orchestra

1972年、東北初のプロ・オーケストラとして誕生。山形テルサ・酒田・鶴岡での定期演奏会、東京・大阪での「さくらんぼコンサート」、山形県下で毎年3万人以上の青少年に“感動”を届けるスクールコンサートなど、年間150回に及ぶ多彩な演奏活動を展開。

2007年、飯森範親(2004年から常任指揮者・ミュージックアドバイザー)の音楽監督就任を機に、名実共に東北地方のみならず日本の音楽文化を代表するオーケストラとしての地位を確立している。2006年、オーケストラの自主レーベルとしては日本初となるCDレーベル「YSO live」を立ち上げ、2007年から2015年まで8年半にわたる壮大なプロジェクト、「アマデウスへの旅」(モーツァルト交響曲全曲演奏会)を開催、2008年には、アカデミー賞映画「おくりびと」に出演。創立45周年を迎えた2017年4月には「モーツァルト交響曲全集」を発売、第55回レコード・アカデミー賞(特別部門 企画・制作)を受賞し全国的な話題となる。

芸術総監督 飯森範親、常任指揮者 阪哲朗、首席客演指揮者 鈴木秀美、ラデク・バボラーク、創立名誉指揮者 村川千秋。 オフィシャル・ウェブサイト <http://www.yamakyu.or.jp/>



©Kazuhiro Suzuki